

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会		
開催日時	令和6年8月27日(火) 10:00~11:12		
開催場所	Web会議 (Microsoft Teams を利用)		
議長(委員長・会長)氏名	上尾市地域創生総合戦略審議会 会長 佐藤 徹		
出席者(委員)氏名	佐藤 徹、本田 直子、後藤 和史、内田 富美代、池上 卓郎、 高橋 萌香、高橋 吉博、小池 佑弥、島津 秋男、井上 淳子、樋口 敦		
欠席者(委員)氏名	藤倉 利則、益川 昭寿、金子 一夫、坂田 直人		
事務局(庶務担当)	行政経営部長 池田 将寛、行政経営部次長 堀部 弘幸 行政経営課長 本郷 美代子、行政経営課副主幹 福島 雅也、 行政経営課主査 沢辺 司、行政経営課主任 橋本 香菜子		
会 議 事 項	1 議 題	2 会議結果	
	1 開会 2 委員及び事務局紹介 3 会長及び副会長の選出について 4 会議の公開について 5 議 題 ① 令和5年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の評価について ② 企業版ふるさと納税の令和6年度寄附対象事業について ③ その他 6 閉会	報告・説明と質疑応答	
議事の経過	別紙のとおり	傍聴者	1人
会議資料	別紙のとおり		
<p>議事の内容と末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: center;">令和6年 9 月 26 日</p> <p style="text-align: right;">会長の署名 <u>佐藤 徹</u></p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 <u>池上 卓郎</u></p>			

議 事 の 経 過

司会 (堀部次長)	<p>1 開会</p> <p>定刻になりましたので、令和6年度第1回上尾市地域創生総合戦略審議会を開会いたします。</p> <p>私は司会を務めさせていただきます、行政経営部次長の堀部でございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>初めにオンライン会議をする上での簡単なルールを2点お話しします。</p> <p>まず1点目です。発言する方以外は雑音が入らないようにしたいため、発言する時以外は、マイクの機能をオフにさせていただきたいと思っております。2点目、そのご発言又はご意見をいただく際は挙手のボタン、もしくは挙手をお願いしております。また、ご自身のマイクをオンにいただき、氏名を名乗って、案内されてから発言するようお願いいたします。以上2点でございます。ご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、会議に入らせていただきます。</p> <p>本日の審議会では11名の委員さんに出席いただいております。本審議会は、条例第6条2項の規定に基づき、委員の過半数の出席がありましたので、有効に成立していることをご報告いたします。</p> <p>また、7名の委員の変更がありましたので、ご紹介させていただきます。上尾商工会議所青年部副会長の後藤和史様でございます。</p>
後藤委員	(あいさつ)
司会 (堀部次長)	ありがとうございました。続きまして、株式会社中広メディアソリューションズメディア事業部埼玉支局埼玉一課の高橋萌香様でございます。
高橋萌香委員	(あいさつ)
司会 (堀部次長)	ありがとうございました。続きまして、上尾市議会議員の小池佑弥様でございます。
小池委員	(あいさつ)
司会 (堀部次長)	ありがとうございました。続きまして、上尾市議会議員の島津秋男様でございます。 <p>すみません。島津様の音声がかうまく繋がっていないようですので一旦次の方をご紹介させていただきます。続きまして、上尾市議会議員の井上淳子様でございます。</p>
井上委員	(あいさつ)
司会 (堀部次長)	ありがとうございました。なお、新たに委員になられた大宮公共職業安定所業務部長益川昭寿様、埼玉県県央地域振興センターの坂田直人様は本日欠席となっております。
	2 会議の公開について
司会 (堀部次長)	続きまして、次第の2、会議の公開について事務局から説明いたします。
事務局 (橋本)	本審議会につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針」に従いまして、同指針策定後の初めての審議会において「原則公開」ということで採

<p>司会 (堀部次長)</p>	<p>扱されております。</p> <p>本日傍聴者が 1 名いらっしゃいます。ただ今から傍聴者に入場していただきます。傍聴者はお配りした「傍聴要領」を遵守していただき、会議のスムーズな運営にご協力をお願いします。</p> <p>それでは、条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、今後の進行は、佐藤会長にお願いします。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>それでは、議事の進行を務めさせていただきます。議事の正確性を証するため、議事録に署名をお願いしたいと考えております。議事録署名人につきましては、出席委員の中から池上委員さんをお願いしてよろしいでしょうか。</p>
<p>池上委員</p>	<p>承知いたしました。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>はい。ありがとうございます。それでは本日の会議の議事録署名人を池上さんをお願いします。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>3 議題</p> <p>それでは、次第の 3 番、議題に入っていきます。議題 1 令和 5 年度実績に基づく上尾市地域創生総合戦略の評価につきまして、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (橋本)</p>	<p>はい。事務局からご説明させていただきます。初めに会議資料について確認させていただきます。</p> <p>1 つ目、次第になります。</p> <p>2 つ目、資料 1 こちらが修正後の第 2 期上尾市地域創生総合戦略評価シート(令和 5 年度実績)になります。</p> <p>続いて、資料 2 こちらが修正前の第 2 期上尾市地域創生総合戦略評価シート(令和 5 年度実績)になります。</p> <p>最後に、資料 3 企業版ふるさと納税の令和 6 年度寄附対象事業についての以上 4 点です。</p> <p>そうしましたら、資料 1、資料 2 をお願いします。こちらは、令和 3 年度から第 2 期の取組期間がスタートいたしました上尾市地域創生総合戦略について、令和 5 年度の実績を取りまとめたものでございます。庁内の会議において目標値を上方修正したことにより遅れとなっているものがあるなど、目標値の評価方法についてご意見をいただいたため、今までの総括表及び個別シートの評価方法を変更いたしました。そのため、資料 1 が修正後、資料 2 が修正前の(昨年度までの)評価シートでございます。修正前の資料については、総括表以外のページは割愛しております。</p> <p>資料 1 の 1 ページと 2 ページをご覧ください。こちらが総括表です。大枠で 3 つの基本目標があり、そこに直結する数値目標や関連する KPI が全部で 24 項目ございます。</p> <p>総括表のほぼ中央の列に、令和 7 年度目標に対する進捗が記載してございまして、令和 7 年度目標に対して、現時点での評価として、A「順調に推移している」、B「ほぼ達成する見込みである」、C「進捗が遅れがみられる」の 3 段階評価をしております。また、各年度の実績値の右横に、年度目標の達成として、年度目標を達成できた場合には「達成」、達成できなかった場合は「未</p>

達成」を記載するように変更いたしました。令和 5 年度実績までの結果を踏まえた令和 7 年度目標に対する進捗は全 24 項目中、A「順調に推移している」が 6 項目、B「ほぼ達成する見込みである」が 7 項目、C「進捗に遅れがみられる」が 11 項目との結果になりました。

資料を 1 枚めくっていただいて 3 ページをお願いいたします。ここからは個別シートです。シートの構成といたしましては、各ページ左上の太文字で書かれているものが、数値目標や指標の項目、その下の枠には、令和 3 年度から 7 年度までの目標値と令和 3 年度から 5 年度の実績値、さらにそれをグラフ化してものを示しています。その下にあります「達成」「未達成」と記載されている欄がありますが、ここでの「達成」「未達成」はその該当年度の目標値をクリアしたかどうかという単年度での結果でございます。さらにその下には、その目標を管理している部署による考察及び今後の戦略を記載しております。今後の戦略につきましては、昨年度までは今後の見通しとしておりましたが、庁内会議の意見を踏まえ、今後の戦略に名前を変更しております。なお、基本目標を実現するための重点施策につきましては、該当する実施事業の予算と決算を記載しております。なお、この後の個別シートの説明では、ページ下の印字されている数字で説明を進めさせていただきます。本日は時間の関係もありますので、進捗が未達成のものを中心に順にご説明いたします。

それでは、1 ページ、数値目標市内法人の従業者数についてです。令和 5 年度目標値 5 万 7539 人に対して、実績値 5 万 7991 人と達成となっております。達成となっているため詳細は割愛させていただきます。

続いて 2 ページ利用権が設定された農地の面積については、令和 5 年度目標値 64ha に対して実績値 62ha となり、目標値に届かず未達成となっております。依然として農業者の高齢化と担い手不足が続いており、目標値には達成しませんでした。引き続き利用権設定、農地中間管理事業の制度を周知し、農用地の促進を図ってまいります。

続いて 3 ページ、中小企業サポート件数です。令和 5 年度目標値 394 件に対して、実績値 304 件と未達成となっております。公的なコロナ関連の補助金の利用が落ち着いたこと、サポートセンターへの相談を必須とする補助金が減少したため、目標値には達しませんでした。目標値には達しませんでした。経営相談や総合相談、販売促進など、実質的な事業者相談件数は維持しており、令和 3 年度当初の目標値 169 件は達成しております。

続いて 4 ページ、法人市民税額については、令和 5 年度目標値 18 億 700 万円に対して実績値が 15 億 5199 万円となり、目標値に 2 億円以上届かず未達成となっております。原材料やエネルギーなどの価格高騰の影響を受け減少したものと考えられます。国内及び自社の景況が良くなっていると感じている中小企業の割合は高いものの、今後も物価や原材料価格の高騰の影響を受けることが想定されます。

続きまして 5 ページ、キャリア形成支援対象者数については、令和 5 年度目標値 1 万 3400 人に対して実績値 1 万 1290 人となり、目標に 2110 人届かず未達成となっております。令和 5 年度は県共催セミナーの動画配信や、新たにシニアや未就労の方を抱える家族等を対象にしたセミナーを開催し、昨年度と比較して支援件数は増加しましたが、目標値には達しませんでした。令和 6 年度から個別就労相談の場所をふるさとハローワーク内に移転し、ハローワークとの連携を図り、支援を強化していきます。

続いて 6 ページ、年少人口です。令和 5 年度目標値 2 万 6715 人に対して実績値 2 万 6451 人となり、目標値に 264 人届かず未達成となっております。減

少率は、全国単位より抑制されていますが、合計特殊出生率は全国単位を下回っており、出生数が減少しているほか、年少人口の転入超過数も減少しており、年少人口の減少に歯止めがかかっておりません。子育て世代に対する施策を積極的に促進し、定住促進を図り、年少人口の減少に歯止めをかけます。

続いて 6 ページ下、学校に行くのは楽しいと答えた児童生徒の割合については、中学校では、令和 5 年度目標値 85% に対して実績値 86.1% と目標値を上回ったものの、小学校では、令和 5 年度目標値 92% に対して実績値 91.7% と目標値に 0.3 ポイント届かず、全体としては未達成となっております。小学校では、目標値を下回ったものの、令和 4 年度と比べて、学校に行くのは楽しいと答える児童の割合は増加しております。中学校では、目標値は上回ったものの、令和 4 年度と比較して学校に行くのは楽しいと答える生徒の割合は少し減少しております。指導方法の工夫改善や、教師の指導力向上学校行事等の実施方法の改善を通して、個別最適な学びと協働的な学びが図れるよう、学校訪問や各種研修会等を通して、数値目標の達成を図ります。

続いて 7 ページ、子育て世代包括支援センターでの対応延べ件数については、令和 5 年度目標値窓口 2040 件、電話 2510 件に対して実績値は窓口 2253 件、電話 2271 件と電話に対して 239 件届かず全体として未達成となっております。相談件数は、令和 4 年度と比較すると窓口相談はほぼ横ばい、電話相談は減少しておりますが、これは令和 5 年度より助産師、保健師による産婦・新生児訪問が全戸対象となり、訪問において相談支援を行っているためと考えられます。令和 6 年 4 月にこども家庭センターを開設し、子育て世代が安心して出産子育てできる子育てしやすいまちの実現に向け、妊産婦や子育て世代にとって身近な相談窓口になるよう周知に努め、継続した支援に取り組んでまいります。

続いて 8 ページ、保育園の待機児童者数については、令和 5 年度目標値 5 人に対して実績値 26 人となっております。令和 5 年度 4 月に認可保育所 2 園、認定こども園 1 園整備し、保育の受け皿を拡大しましたが、認可保育所等への新規入所申込者数が前年度よりも増加したこと、保育園 2 か所の閉園による保育の受け皿が減少したことにより、待機児童者数が増加し、目標達成できませんでした。保育環境整備計画に基づき、保育需要を毎年度見直し、計画的に保育の供給体制を整備してまいります。

続いて 9 ページ、放課後児童クラブの待機児童者数については、令和 5 年度実績 0 人に対して実績値 0 人となっております。達成となっているため詳細は割愛させていただきます。

続いて 10 ページ、地域子育て支援拠点の利用者数については、令和 5 年度目標値 6 万 6463 人に対して実績値 6 万 9089 人となり、達成となっております。こちらも、目標値を達成しているため、詳細は割愛させていただきます。

続いて 11 ページ、児童館の利用者数については、令和 5 年度目標値 25 万 8500 人に対して実績値 22 万 3380 人となり、目標値に 3 万 5120 人届かず未達成となっております。令和 5 年 5 月 8 日以降、利用時間、利用人数の制限を解除して事業を実施し、前年度と比べ来館者数が増加しました。引き続き安心して親子が集い、遊びなどを通じて楽しみながら交流を深められる場を提供してまいります。また、コロナ前の平成 30 年度と比較すると、乳幼児の利用者数の減少が著しいことから、平日に保育園やプレ幼稚園を利用する 3 歳未満の幼児とその保護者が利用しやすくなるよう、事業の新規拡充や開催曜日の見直しを行い、周知方法を工夫してまいります。

続いて 12 ページ、上尾市学力学習状況調査における市内標準得点について

は、令和5年度目標値51.8に対して実績値50となっており、目標値に1.8ポイント届かず未達成となっております。小中学校ともに、各調査教科に共通して、根拠をもとに自分の考えや説明をしたり、既習の学習内容を関連付けながら解決したりする問題に誤答や無回答が多くなっており、児童生徒一人一人の学力や学習状況を的確に把握するとともに、学校訪問や研修会等を通じて、教職員には指導助言を行い、指導力の向上を図ってまいります。

続いて13ページ、学校応援団の延べ活動日数については、令和5年度目標値1万3522日に対して、実績値7468日となり、目標値に6054日届かず未達成となっております。社会情勢の変化や、共働き家庭の増加で、平日の学校応援団活動に参加していただくボランティアの確保が難しくなっています。限られたボランティアの中で、学校応援団を効率的に運用していくために、組織体制の見直しや活動内容の精査を行っている学校があるため、活動日数が減少し、目標には達成しませんでした。コミュニティスクール研修会において、学校・家庭・地域が一体となった取組を周知し、活動日数の増加を図ってまいります。

続いて14ページ、転入超過の数については、令和5年度目標値1772人に対して実績値1164人となり、目標値に608人届かず未達成となっております。令和4年度と比べて、転入数が111人減少に対して、転出数は454人減少となっており、転入数のほうが減少数が少なかったため、転入超過数が増加しております。広報あげお、市のホームページ、速報性の高いソーシャルメディア等の多様な媒体を活用し、まちの魅力を発信するほか、子育て世代に対する施策を実施することで、転入促進、転出抑制を図り、定住を促進していきます。

続いて、14ページの下部分、地域防災訓練の実施率については、令和5年度目標値98%に対して、実績値82%となり、目標値に16ポイント届かず未達成となっております。なお、令和4年度の実績値に誤りがあったため、赤字で修正となっております。コロナウイルス感染症の5類移行により多くの自治会の活動が再開されたことで、地域での訓練が開催されておりますが、自治会の高齢化等の影響もあり、実施率は微増となっております。引き続き訓練実施に向け研修等により働きかけを行ってまいります。

続いて15ページ、健康寿命です。こちらは令和5年度実績は令和7年5月頃に把握可能となることから、今回のシートでは直近の令和4年度の数値を記載しております。令和4年度目標値男性18.85に対して実績値18.35、女性目標値20.88に対して実績値20.72となっており、男女ともに未達成となっております。今後疾病予防のための事業や健康増進のための事業を進め、関係機関との連携も図ってまいります。

続いて16ページ、SNS登録者数については、令和5年度目標値2万2400人に対して、実績値2万5796人と達成となっております。達成となっているため、詳細は割愛させていただきます。

続いて17ページ、ふるさと納税の寄附額については、令和5年度目標値8500万円に対して、3億9741万8千円となり達成となっております。令和5年度実績が計画最終年である令和7年度目標値を上回ったため、令和7年度までの目標値を上方修正いたしました。

続いて18ページ、スポーツレクリエーション事業の参加者数については、令和5年度目標値1万9100人に対して実績値1万5821人となり、目標値に3279人届かず未達成となっております。スポーツ都市宣言の趣旨を踏まえ、新たにスポーツ体験の機会を提供し、市民の運動習慣を促進するイベントと

	<p>してスポ健 Day と称した事業を開催しました。それぞれのスポーツイベントでは参加者数は微増しております。今後は、市民ニーズに注視しながら、新たなスポーツ活動や運動への関わりの方も検討して参加者の増加を図ってまいります。</p> <p>続いて 19 ページ、各種がん検診の受診率です。こちらは、胃がん、肺がん、大腸がんについて男女別の値に、子宮がん、乳がんの値を加えた合計 8 項目について、検診の受診率を示しております。肺がん検診が男女ともに目標値を超えたものの、残りの項目では実績値が目標値を下回り全体として未達成となっております。今年度は、新たに他の事業や検診等の対象者等に多くチラシを配布し、受診率向上に向けた働きかけを行ってまいります。こちらの下の部分になりますが、予算と決算を載せている部分がありまして、そちらの令和 5 年度の数値に誤りがあったので、ご説明させていただきます。R5 年度の真ん中の後期高齢者健康診査事業と後期高齢者保健普及事業の決算の数値について、誤りがありまして、正しくは後期高齢者健康診査事業が 188,961 で、後期高齢者保健普及事業が 19,416 の数値の誤りになっております。予算の方も数値が間違っておりまして、後期高齢者健康診査事業が 222,188 で、後期高齢者保健普及事業が 24,823 の予算金額が正しいものになっております。正しいデータについては、本審議会が終わった後に、皆様にメールでお送りさせていただきますので、ご確認していただければと思います。申し訳ございませんでした。</p> <p>そうしましたら、次のページの説明に移らせていただきます。</p> <p>20 ページ、防災士の育成人数をご覧ください。令和 5 年度目標値 178 人に対して実績値 171 人となり、目標値に 7 人届かず未達成となっております。令和 5 年度は 15 人の受講枠を確保しましたが、受講予定の 1 名の未受講が発生したため、予定より 1 名減となりました。令和 6 年度は、各地区の受講枠を早期に決定しており、受講者のスケジュール等に変更が生じる可能性を軽減させました。次年度以降も同様に早期決定を実施してまいります。</p> <p>続いて 21 ページ、災害時応援協定の延べ締結件数については、令和 5 年度目標値 146 件に対して実績値 148 件と達成となっております。達成となっておりますので、詳細は割愛させていただきます。</p> <p>最後に、22 ページ、市内循環バスぐるっとくんの利用者数については、令和 5 年度目標値 49 万 3000 人に対して実績値 44 万 4371 人となり、目標値に 4 万 8629 人届かず未達成となっております。コロナ禍の落ち込みから引き続き利用者数が回復途上であり、利用者数が目標値を下回っているものの、対前年度比で約 2 万 4000 人増加しております。令和 7 年度からのぐるっとくんの増便見直しによりさらに利用者の増加を図ってまいります。</p> <p>事務局からの説明は以上となります。よろしくお願いたします。</p>
佐藤会長	<p>説明に対しまして、皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いしたいと思っております。先ほど事務局からアナウンスありましたように、挙手いただくかあるいは手を挙げるボタンを押していただいた上で、マイクを ON にしてご発言ください。いかがでしょうか。</p>
小池委員	はい。
佐藤会長	それでは小池委員お願いいたします。
小池委員	1 点質問ですが、全体を通して、色々達成、未達成を今ご報告いただきま

	<p>したけど、実際に実行しているのは、行政経営課ではなくて他の担当課だと思いますが、令和5年度中に具体的に何をやって、KPIに対して効果があったかなかったかというのを整理しないといけないと思うのですが、整理自体は行政経営課でされているのかをお伺いしてもよろしいでしょうか。</p>
佐藤会長	<p>行政経営課リプライをお願いします。</p>
事務局 (本郷課長)	<p>はい。それぞれの事業につきましては、各シートの経過の考察等により事務局では把握してございます。各課からいただいたものでありますけれども、実際の戦略として今後どうしていくかということも踏まえて事務局では把握しているところでございます。</p>
佐藤会長	<p>小池委員よろしいですか。</p>
小池委員	<p>そうですね。ありがとうございます。何か少し考察が実態とずれているような気がするところが何か所かあって、例えばですが、法人市民税額のところとかは、考察で市内産業の景況感は概ね維持しているものと見ていると書いてありますが、県内他市で法人市民税が下がっているところってほとんどないです。特に上尾市はその減少率が大きいというのが傾向としてある中で、この考察が果たして正しいかどうかがよくわからないという感想です。さっき質問させていただいたのは、そもそも法人市民税 KPI がある中で法人市民税は多分商工課で、多分色々取組はされていると思いますが、何が良くて何がだめだったかをちゃんと分析できていないとこのままズルズルいってしまいそうだという感覚としてあるので、事務局の方からも色々やっていることに対して、査定とか精査をしていただくといいかと思いますので、一応ご意見とさせていただきます。</p>
佐藤会長	<p>小池委員ありがとうございます。今の2回目のご意見に対するの応答ありますか。リプライありますか。</p>
事務局 (堀部次長)	<p>よろしいでしょうか。事務局からです。 考察のところの書きぶりの話から少し事務局としての見解を述べさせていただきます。ここについては、令和5年度の決算の状況を踏まえた考察が書かれております。まだ全国的な決算状況というのがつぶさに細かいところまで、近隣の市とかは出ていないので一概には申し上げられませんが、総務省が速報でまとめた地方税の決算状況を見ますと、県の法人市民税、それから市町村の法人市民税については、全国的に令和5年度は前年度比マイナスになっているのが今年度トレンド速報として一応出ております。そういう意味では、市と比べてどうかという話が、まだ近隣は調べているところですので一概には申し上げられませんが、全国的な傾向としては、令和5年度については、前年度より減少になっている傾向があるのは一つ言えるかと思います。その上で、最後の締めくくり方として、実質的な市内産業の景況感は概ね維持しているものとみているという言葉のところですが、これは少し三角(△)かというところも確かにご意見のとおりあると思いますが、あくまでもその前年度の上尾市の法人税額と比べた場合に、約1600万円程度の減少で済んでいるという見方を商工課はおそらくして、そこに重点を置くと概ねいいのではという話で締めくくっているという風に思います。ただこれから近隣の市の状況等を見た上で、最終的にはどうするのかというのをやっていかな</p>

	<p>ければいけない部分だと思えますが、先ほど行政経営課長からお話した通り、ここに簡単にまとめて書いてありますけれども、シートの中にこれに関連する事業が色々書いてあります。これらについては、毎年事務事業評価という形で、事業ベースで効果があったかどうかということはやっておりますけれども、その結果を踏まえた上で、ここに寄与する事業がどれなのか、しっかりと判断した上で、先ほど小池委員がおっしゃったようにここはもっとテコ入れしなきゃいけない等、そういう考えに回していかなければいけない話だと思いますので、委員からいただいたものにつきましては、今年度の結果を踏まえてしっかりとどこに力を入れなければいけないかというところは、予算編成の中でしっかりと担当課とあとは行政経営課の中でもグリップを握ってやっていきたいという風には思っております。</p>
佐藤会長	<p>ご意見よろしいでしょうか。</p>
小池委員	<p>はい。ありがとうございます。いろいろ調査も進めてみてください。よろしく願います。</p>
佐藤会長	<p>今の関連で少し私からも聞きたいのですが、上尾市で事務事業評価されていて、令和5年度実績に基づく事務事業評価を今年度されているわけですが、事務事業評価の結果がすでに公表されているのか、今後公表されるとしたらいつ頃なのか教えていただけますか。</p>
事務局 (本郷課長)	<p>事務事業評価につきましては、令和5年度の取りまとめがちょうど終わったところですので、9月上旬にホームページで公表する予定でございます。</p>
佐藤会長	<p>はい。わかりました。この主な総合戦略実施事業というのは、基本的には事務事業評価の対象事業ということでよろしいですか。</p>
事務局 (本郷課長)	<p>はい。概ね対象となっております。</p>
佐藤会長	<p>なるほど。ということで小池委員から最後にご質問あったその事業の中身とか何ができて、できなかったのかに関しては、来月公表される事務事業評価の結果と合わせて見ることによって、より深く認識することができるのではないかと思います。ありがとうございました。</p> <p>チャットのほうに質問いただいております。「8ページの保育園の待機児童者数について、待機児童がゼロになるこども園（保育園や幼稚園）の数が余って経営に支障があるように思いますが、受け入れ側が自然に淘汰されることで調整されるということでしょうか。」というご質問が1点と、「17ページふるさと納税は具体的に何をやったら増収につながったのでしょうか。」という質問です。これはどなたでしょうか。高橋委員ですかね。</p>
高橋吉博委員	<p>はい。ありがとうございます。私です。人口が減少していくというのは、もう止められない流れだと思っていて、労働者もそうですが、行政としても市民とか税収も奪い合いになっていると思います。ふるさと納税もその一環かと思って、待機児童者というのは共働きのためにお子さんを預けたいというような方のことだと思うのですが、この辺のところリンクしているのかと思ってまとめて質問させてもらいました。</p>

佐藤会長	はい。ありがとうございます。それでは行政経営課からのリプライをお願いいたします。
事務局 (本郷課長)	まず保育所の待機児童者数の話をさせていただきます。こちらにつきましては、子どもの数は減っているのですが、毎年入所希望者数は増えている状況でございます。そのためこちらについては人口減少のそのものの影響はまだないです。その中で公立保育所については一部閉園があった代わりに私立の民間の保育所については受け皿を増やしていただいている状況でございます。今回待機児童者数が増えた要因として、主に1歳児の受け入れを希望する人数分に届かなかったというところでございます。今回26名全員が1歳児の希望者でございます。他の年齢については待機児童のいない状況ですので、いかに効率的に保育の受け入れをバランスよく増やすかがポイントになっているという風に考えております。
事務局 (堀部次長)	はい。続きましてふるさと納税のお話があったと思います。ふるさと納税がなんでこんなに増えたのかどのようなことをやったのかというお話かと思えます。主にやったことというのが2点ございまして、1点が返礼品の新たな充実といいますか、今まで揃えてやっていたけれども、特に上尾市に本社があるブリヂストン自転車の種類は多少増やすというようなテコ入れをしまして、返礼品を充実させたというのが1点目でございます。2点目につきましては、ポータルサイトを少し工夫したところでございます。ふるさと納税を一般の住民の方がする時に、ウェブ上からポータルサイトを通じてふるさと納税をする、例えば楽天、セゾン、ふるなび等そういうサイトを通じて寄附をする方が一般的でございますが、その入り口を少し増やしたということでございます。具体的には楽天等をやったりして、そのポータルサイトを新たに追加したことによって、新しい顧客の方と言いますか寄附される方が増えたのだと思っております。以上2点が主な取組でございます。その点が寄附額増加につながったことという風に分析しております。
佐藤会長	高橋委員よろしいでしょうか。
高橋吉博委員	ありがとうございます。
佐藤会長	他にいかがでしょうか。はい、井上委員お願いいたします。
井上委員	19ページの各種検診の受診率のところでご質問ですが、これは上尾市の国保に加入している方ということでいいのか。結構受診率が低いという感想で、これはがん検診の受診率だけだけれども、普通の検診（一般検診）の受診率がどれくらいかは検証しているのか分かればお聞きしたいです。
佐藤会長	はい。2点ほどいただきました。いかがでしょうか。行政経営課からリプライをお願いいたします。
事務局 (本郷課長)	がん検診の受診率が低いという話はいわゆる会社勤めの方も含まれた割合になっているので、低いという状況になっております。一般検診の話については、申し訳ありません今資料を持ち合わせておりませんので、今の段階では回答ができない状況になっております。申し訳ございません。

佐藤会長	井上委員、いかがですか。
井上委員	はい。分母は上尾市の国保だけに限らないってことなのですね。その分母の数がどこに対してのこのパーセンテージになっているのかが気になったので。
事務局 (本郷課長)	上尾市の国保に限らずになりますので、男女それぞれ大体 7 万人強の方が分母となっております。
佐藤会長	なるほど。国保対象者に限ればまたパーセンテージも変わりますね。そうですね。だいぶ違いますよね。 わかりました。分母の取り方によってずいぶん数字の見え方、捉え方が変わりますので、確認できてよかったです。 他にいかがでしょうか。気になった点や何かお気づきになった点等ございましたら遠慮なく、気軽に挙手していただければと思います。よろしいでしょうか。
本田副会長	はい。よろしいでしょうか。
佐藤会長	本田副会長どうぞ。
本田副会長	先ほど高橋委員さんが保育の受け皿についてお話されていたところですが。1 歳児が入れなかった、それが一番の待機児童の数という風におっしゃっていて、今後も計画的に保育の供給体制を整備していくということ等で保育園の待機児童者数の今後についてはお話しされているところですがけれども、14 ページの転入超過数のところを見ますと、どうしても転入が少ないということは、子どもたちの人口もそうですけれども上尾市自体の人口も少ないというところで、今後の戦略として 14 ページでは、「まちの魅力を発信するほか子育て世代に対する施策を実施すること」ということで書いてあるのですがけれども建物をたくさん建てて保育園の待機児童を解消しましょうということと、子育て世代をたくさん市に転入させるということが、やっぱり転入する人が少ないのに、建物をたくさん建てるということは少し矛盾している気がします。そのため、やはりそういうところの今後のどんな施策があるのかというところがお聞きしたいところですがいかがでしょうか。
佐藤会長	ありがとうございます。行政経営課からお願いいたします。
事務局 (堀部次長)	会長、よろしいでしょうか。
佐藤会長	はい、どうぞ。
事務局 (堀部次長)	本田委員さんへの答えにピンポイントになっているかですが、最後の方の言葉の中にこれから人口が減っていく中で保育の受け皿の施設を作ることの矛盾といいますか、無駄なことではというような話かと思えます。その点だけ少しお答えいたしますと、今現在、総人口は微減状態ですけれども、保育需要自体は人口が減る中でも、子育て世代の需要が先ほど申し上げましたよ

	<p>うに増えているというのが実態です。ただし、この先ずっとこれが続くというわけでもございません。また、今の待機児童を減らすためにはやはりそれを受け入れるだけの施設がないといけないということも事実でございます。保育のことにつきましては、保育課が主に担当してはいますが、これからの保育需要を満たすために公立の保育所をどんどん建てましょうという話ではございません。民間の保育所とのバランスを考えながら、民間で受けるようなところはしっかりと民間の誘致をした上で、民間の方をお願いする、公立の保育所は公立の保育所で残すべきところは残していくということが考えでございます。そのため、今の保育需要、それからこれからの保育需要がどれくらいかというものは担当課の方で推計しているものがあります。その上でその推計に基づいて、公立保育所はどうすべきか、そして民間の保育所と公立保育所の両方で保育需要を満たしていきましようという考えがございますので、先ほど最後の方にありましたようにその建物が無駄にならないようにというのは公立と民間の両方で合わせて保育需要を何とかカバーしていきましようという考えのもとで、今保育課の方は進んでいるということになります。お答えになっているかどうかですが、一応補足説明させていただきました。</p>
<p>本田副会長</p>	<p>おっしゃっていることはよくわかりました。ただ、施設を増やすということよりも内容をどうするか、施設を建ててどんどん受け入れを増やしていくということよりも、やっぱりどんな風な受け入れの仕方をするとか、色々な工夫をして受け入れて待機児童を解消するというのを念頭にやっていただきたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>他にございませんか。よろしいでしょうか。 特になければ議題1はここまでとさせていただきます。 続きまして議題2に移ります。議題2は、企業版ふるさと納税の令和6年度寄附対象事業につきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 (橋本)</p>	<p>はい。ご説明させていただきます。資料3をご覧ください。企業版ふるさと納税の寄附対象事業を位置づけるに当たりましては、国が定めたいくつかの条件がありまして、例えば、上尾市地域創生総合戦略の内容に事業内容が合致していることなどが具体的な条件としてございます。その中で本市における令和6年度の新規・拡充事業を中心に定められた条件によるふるいかけを行いまして、事業一覧としてまとめたものが今回お示ししている資料3でございます。令和6年度は、一覧にある14の事業を対象に寄附を募ってまいりたいと考えております。現在、市のホームページで寄附を募ってまいりまして、現在今年度は1件寄附をいただいている状況でございます。説明は以上となります。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>はい。ありがとうございました。 それでは、こちら事務局の説明に対してのご質問やご意見がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。チャットに書き込んでいただいても結構です。いかがでしょうか。特にございませんでしょうか。 それでは、ご質問ご意見等なしということとさせていただきます。ありがとうございました。 はい。それでは、議題3です。その他ですけれども、事務局から何かございますか。</p>

事務局 (橋本)	1点ご説明させていただきます。次回の第2回の審議会については、11月下旬を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。議題としては、今の予定ですと、定住アンケートを今年度実施する予定で考えておまして、その内容についてご審議いただければと考えております。よろしくお願いいたします。
佐藤会長	はい。これにつきまして何かありますか。特にございませんか。
高橋吉博委員	すみません。
佐藤会長	はい。どうぞ。
高橋吉博委員	次回の日程11月下旬ということですが、具体的な日にちは今決まっているのか、いつ決まるのか。あと開催方法は今回のようにWeb会議ということで、その辺決まっていることの情報提供をお願いします。
佐藤会長	はい。事務局お願いします。
事務局 (橋本)	詳細はまだ決めていないので、早めに決めましてご連絡させていただきます。
高橋吉博委員	ありがとうございます。
佐藤会長	はい。他にないでしょうか。私から1点だけ質問させていただきたいのですが、今我々が見ている第2期の上尾市地域創生総合戦略の計画期間が来年度までですよね。令和7年度までになっています。これは現行の上尾市の第6次の総合計画の前期基本計画の計画期間と合わせているわけですね。一体的に取り組むということでそういう風にされているわけです。そうすると、もうそろそろと言いますか、気の早い話をしているのかもしれませんが、その改定に向けた作業というものが、おそらく今後近い将来出てくるのだらうと思います。これは、総合計画の改定と合わせてということになるのですけれども、これまでの実績評価、今回のような事後評価の結果を踏まえて、次の向こう5年間、令和8年度からの5年間に向けた総合戦略ないし、総合計画の改定作業を始めることになるのですが、これはいつ頃くらいにどういう風な形でこの審議会においてコミットしていくかについて、今の段階で何かお話できる範囲で教えていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。先ほどの話だと今年度審議会としての関わりはないということでしょうか。
事務局 (本郷課長)	今後のスケジュールの中で確かに来年度改定作業が入ってきます。そのスタートになるのですが、まず、総合計画に関しましては、今年度動き出したところでございます。この総合戦略についても先ほど事務局から今回の内容として、定住アンケートのお話をさせていただきましたが、その結果も踏まえてまた次の新たな総合戦略でどこをテーマとしていくかというものを次回以降検討していきたいと考えております。
佐藤会長	はい。総合計画の方も審議会があると思いますが、立ち上げられているの

	<p>でしょうか。後期基本計画策定に際して、もしそうだったらそちらの審議会と連携しつつということになるかもしれないですね。</p>
<p>事務局 (本郷課長)</p>	<p>はい。総合計画の方の審議会も立ち上がりましたが、まだ具体的な後期基本計画の検討までには入っていないため、並行して進めていくようなイメージとなります。</p>
<p>佐藤会長</p>	<p>はい。もう少し具体的なスケジュール感や方法的なものが見えてきたら、メール等でも構わないので、アナウンスいただければと思います。私からは以上です。</p> <p>他にも委員の皆様からご質問やご意見等なければ、これもちまして、議事の方は終了とさせていただきますけれども、進行は事務局の方にお返しいたします。よろしくお願いいたします。</p>
<p>司会 (堀部次長)</p>	<p>はい。皆さま大変ありがとうございました。それでは最後に本田副会長から閉会のごあいさつを賜りたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>本田副会長</p>	<p>【閉会あいさつ】</p> <p style="text-align: right;">以上</p>